

2.3.2 ステップ2の検討結果

ステップ1検討では断層面の非一様破壊を考慮しなかったが、ステップ2では入倉・三宅(2001)、Irikura et al.(2004)による断層破壊設定法に倣って非一様破壊シナリオを複数想定した。想定した断層破壊ケースは以下の計73通りである。図2-10～図2-15に、全ケースの計測震度の予測結果を示す。なお、ステップ2の予測結果は、大阪堆積盆地が地震動に及ぼす影響は含まれないが、市町村に影響の大きいシナリオとしての震度分布などが得られる。

①上町断層帯	35 ケース	②生駒断層帯	16 ケース
③有馬高槻断層帯	9 ケース	④中央構造線断層帯	7 ケース
⑤六甲・淡路島断層帯	5 ケース	⑥大阪湾断層帯	1 ケース

これらのうち、震度曝露人口、府域全体への影響、地形・地質学および地震学の現状の認識との整合性について考察し、ステップ3の大阪府域を対象とするシナリオとして、表2-4のとおり上町断層帯で2ケース、生駒断層帯、有馬高槻断層帯、中央構造線断層帯でそれぞれ1ケースの、計5ケースを選定した。

表 2-4 選定した大阪府域対象のシナリオ

ステップ2より選定したシナリオ	ステップ3での呼称
・ 上町断層帯ケース 33	・ 上町断層帯地震 A
・ 上町断層帯ケース 34	・ 上町断層帯地震 B
・ 生駒断層帯ケース 3	・ 生駒断層帯地震
・ 中央構造線断層帯ケース 5	・ 中央構造線断層帯地震
・ 有馬高槻断層帯ケース 8	・ 有馬高槻断層帯地震

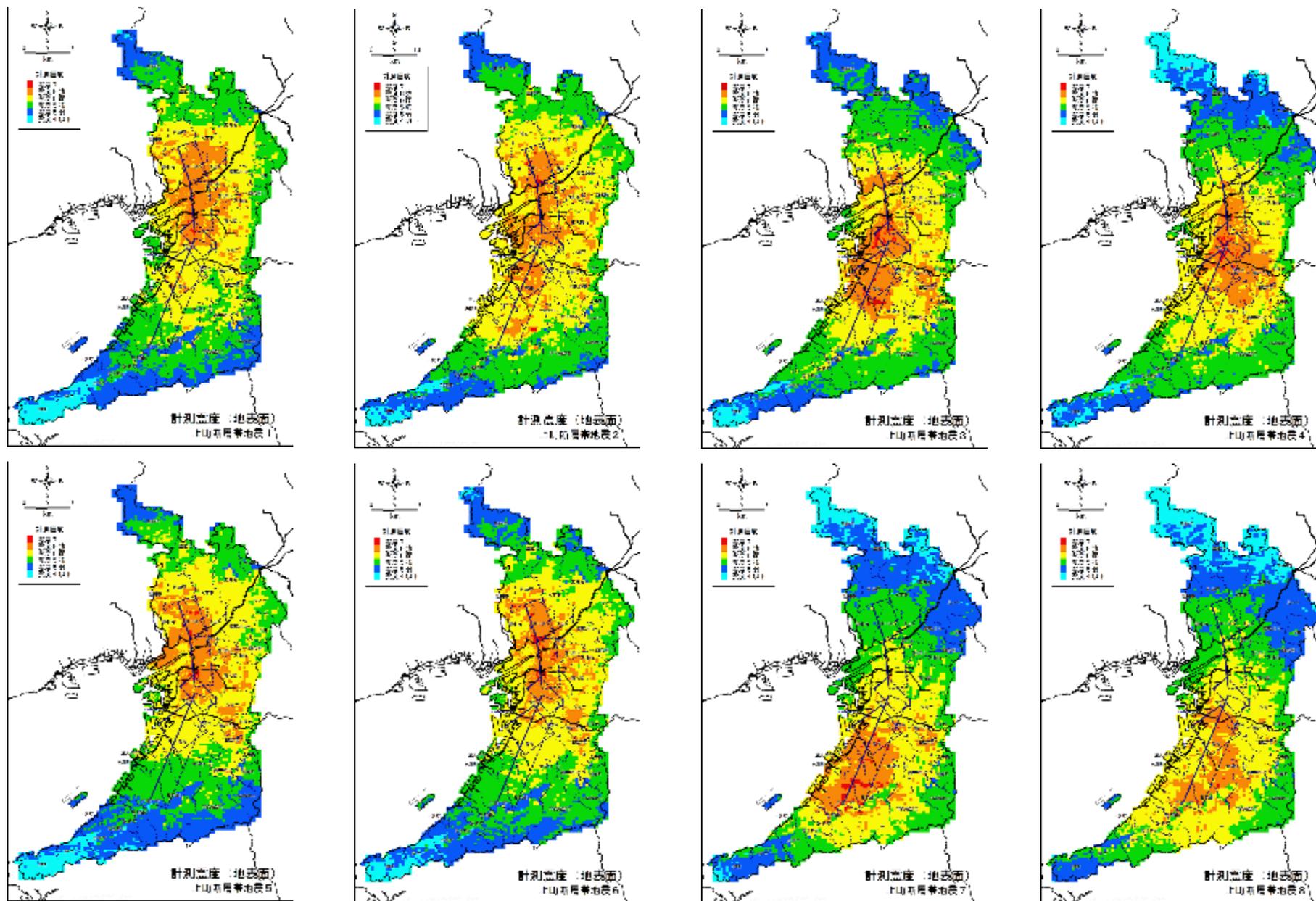


図 2-10(1) ステップ 2 による計測震度予測結果 (上町断層帯地震ケース 1~8)

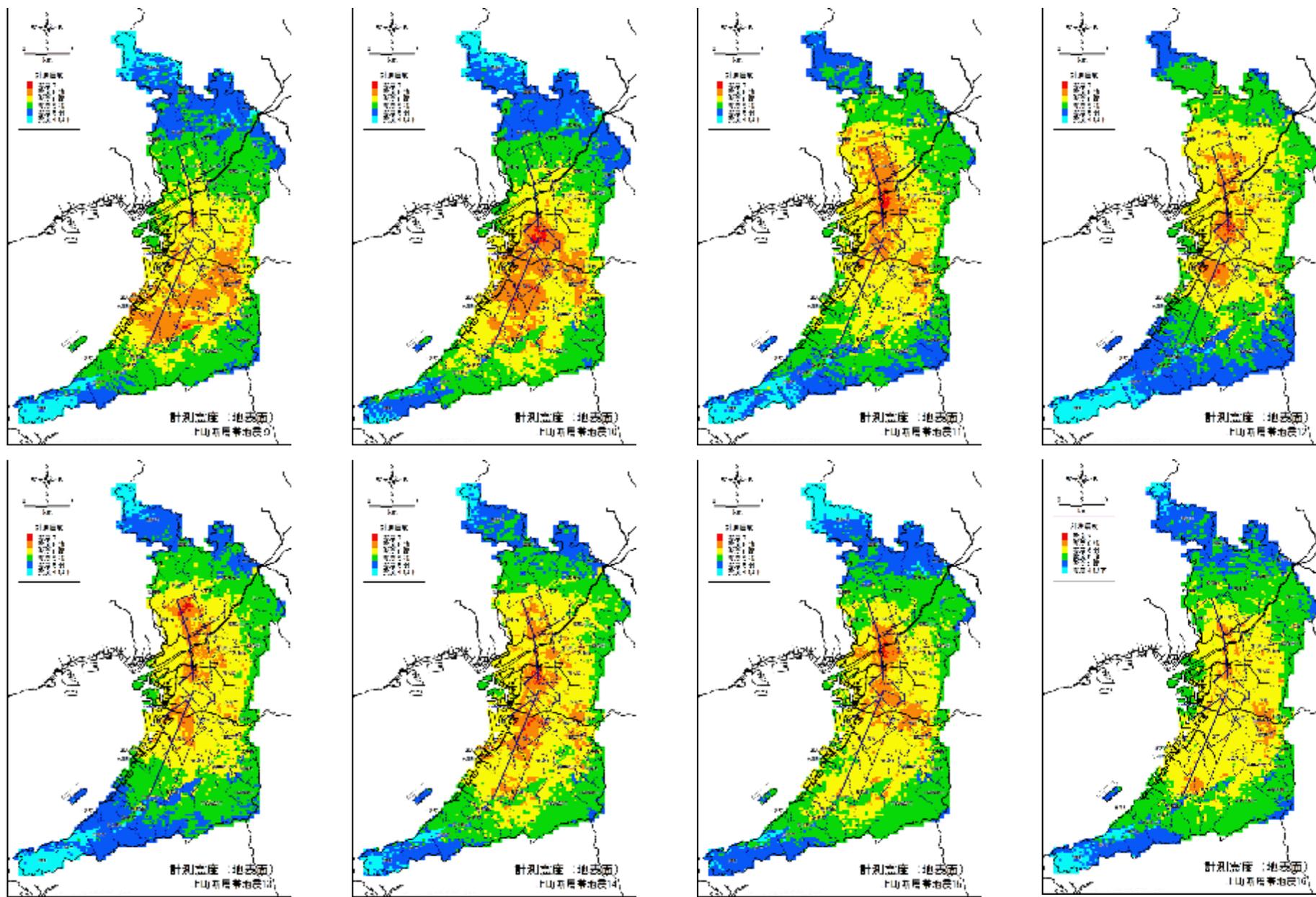


図 2-10(2) ステップ 2 による計測震度予測結果 (上町断層帯地震ケース 9~16)

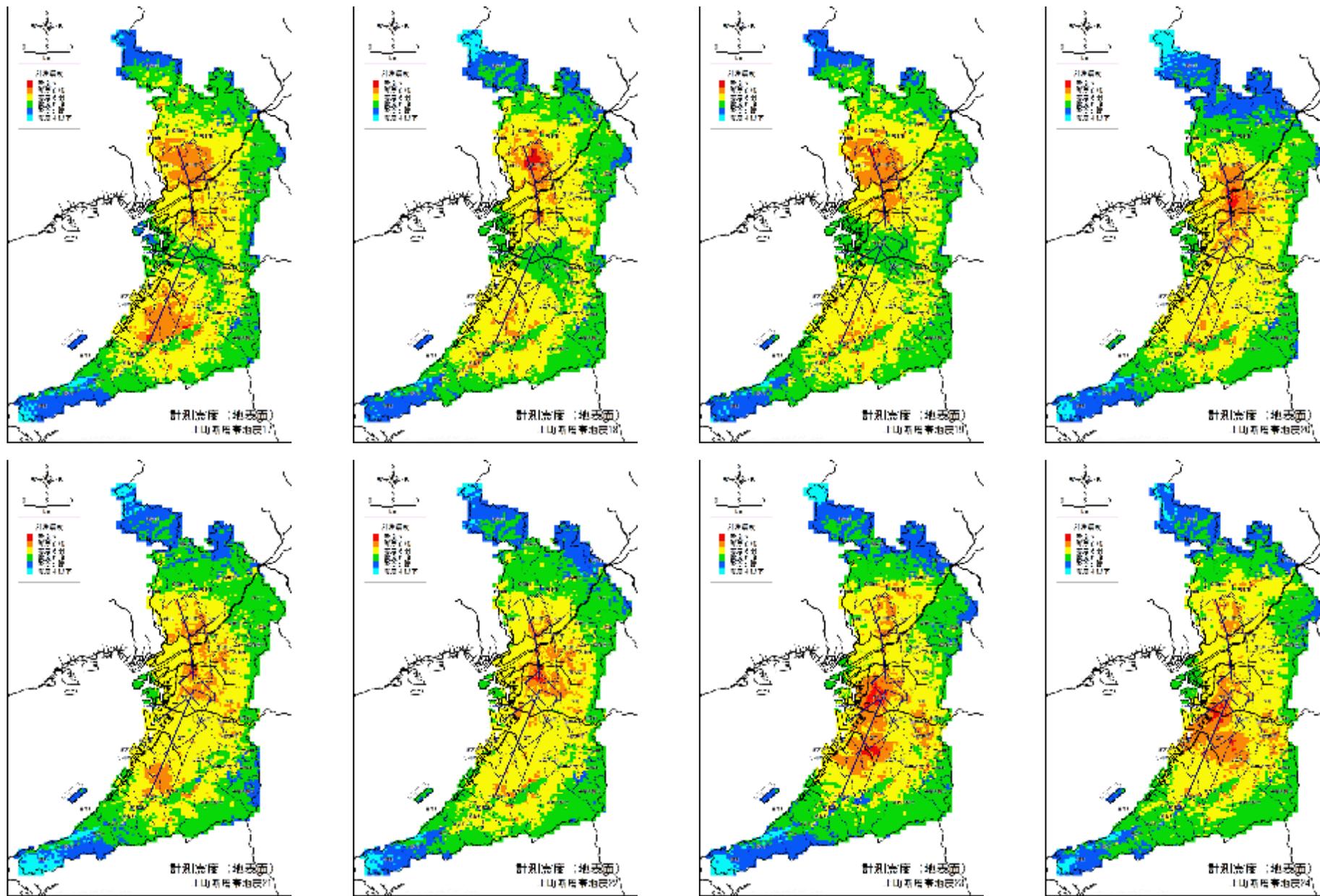


図 2-10(3) ステップ 2 による計測震度予測結果 (上町断層帯地震ケース 17~24)

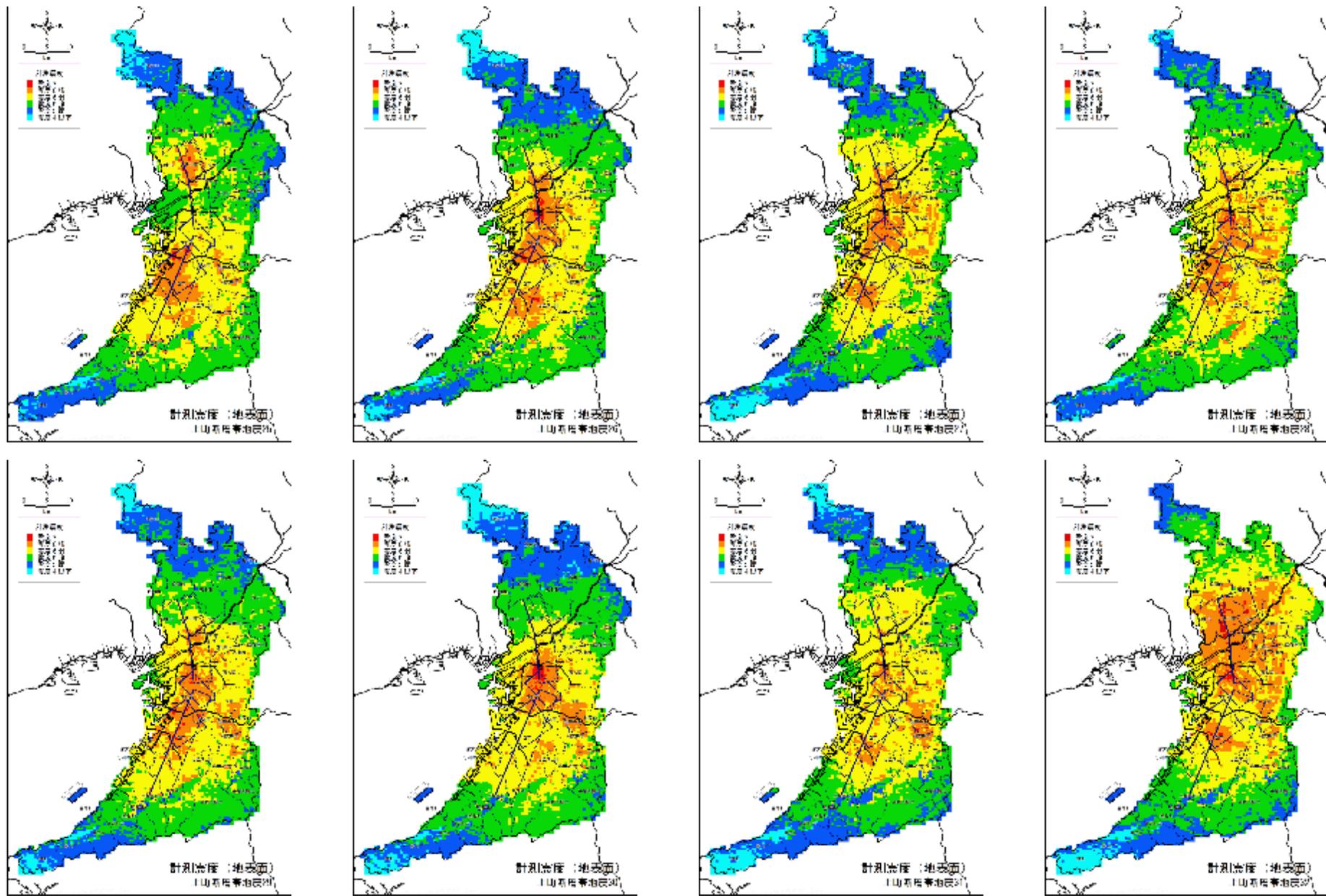


図 2-10(4) ステップ 2 による計測震度予測結果 (上町断層帯地震ケース 25~32)

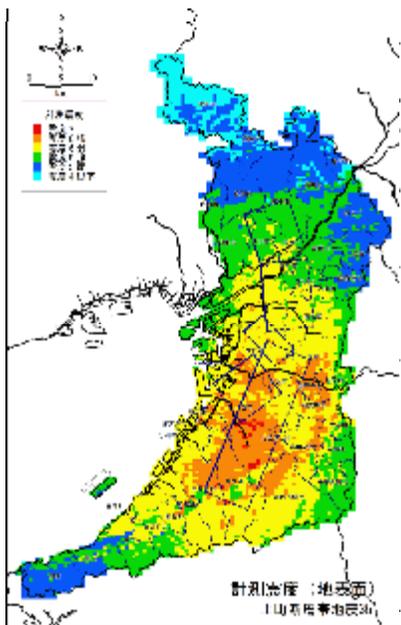
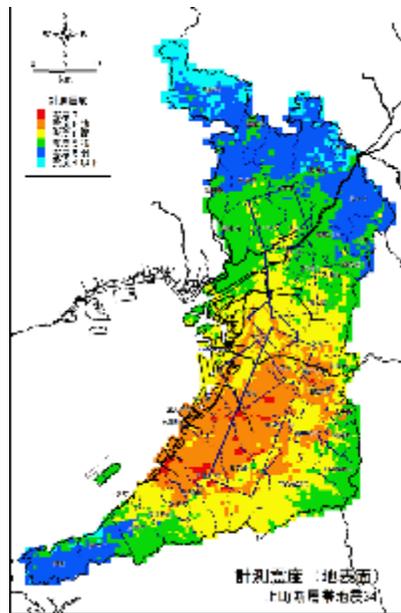
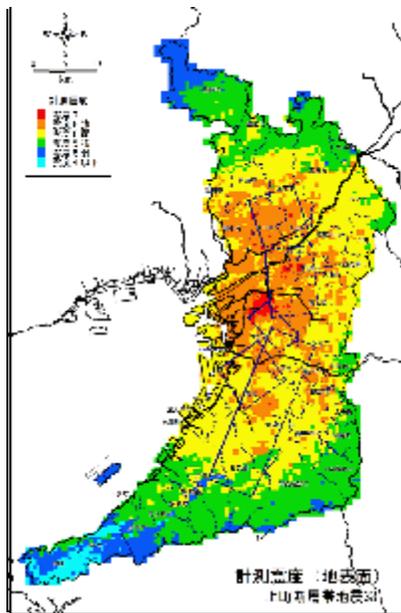


図 2-10(5) ステップ 2 による計測震度予測結果 (上町断層帯地震ケース 33~35)

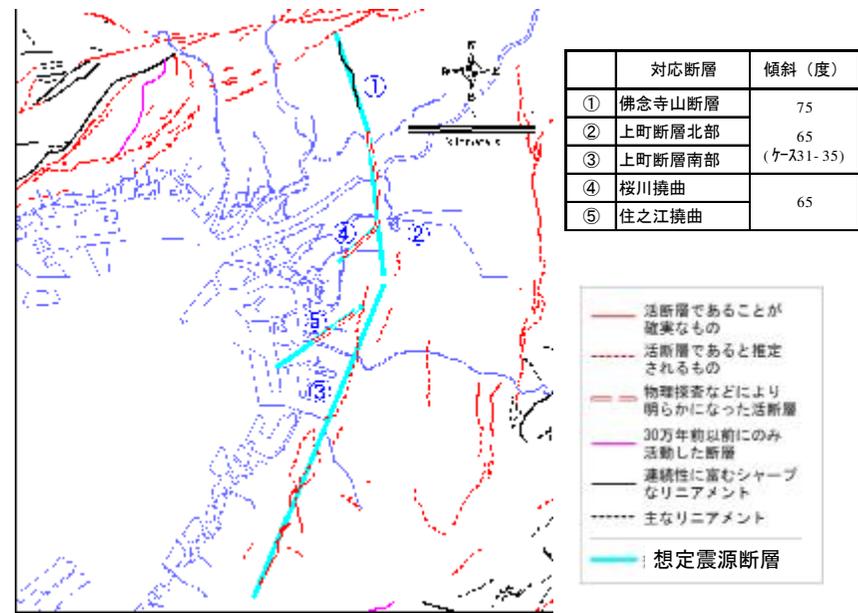
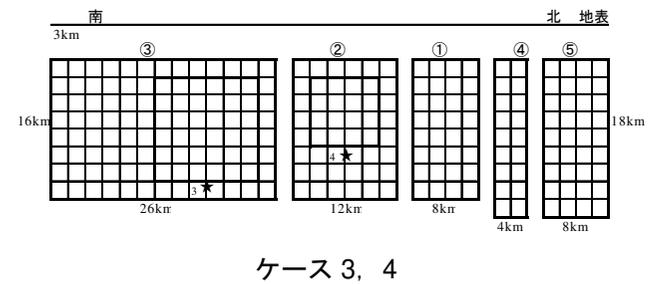
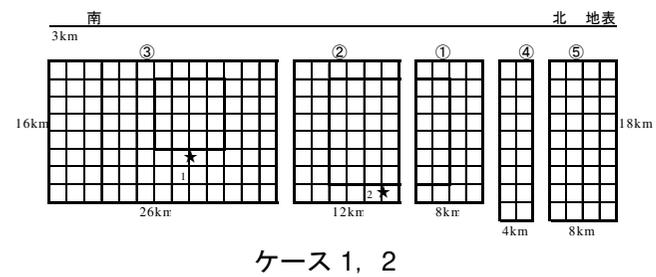
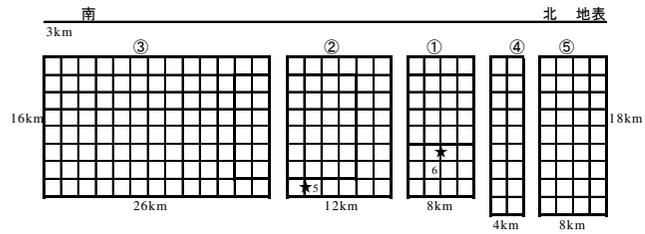
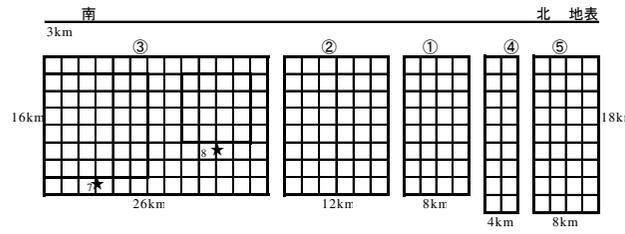


図 2-10(6) 上町断層帯で想定した震源断層の位置

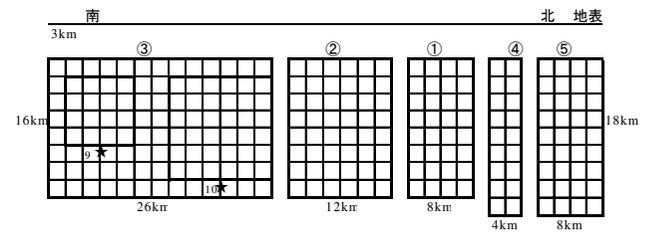




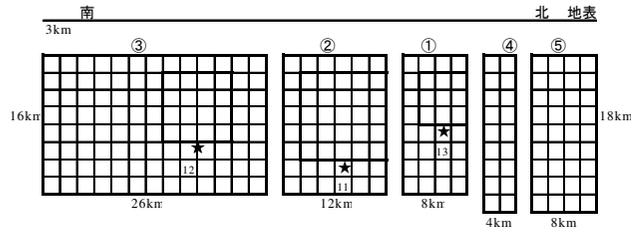
ケース 5, 6



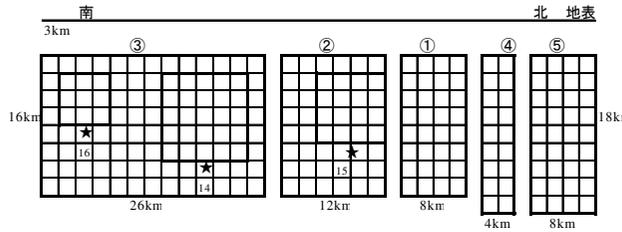
ケース 7, 8



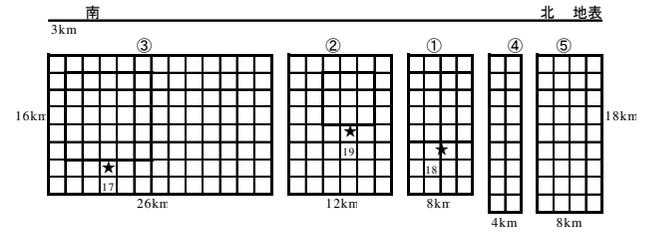
ケース 9, 10



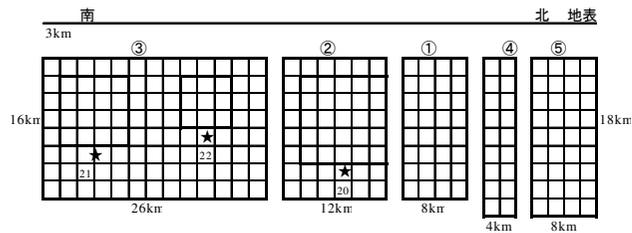
ケース 11~13



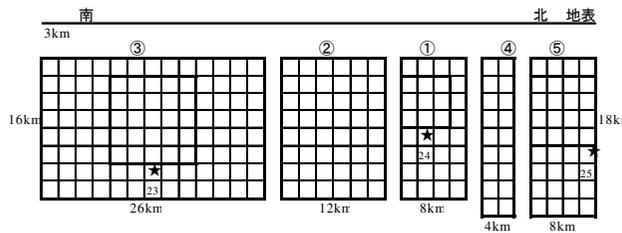
ケース 14~16



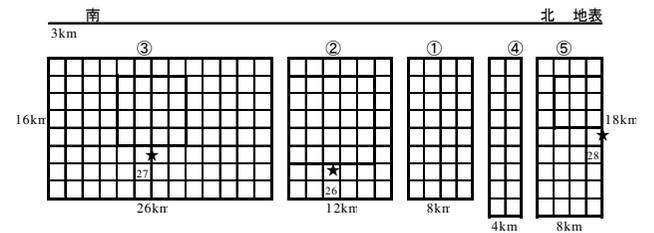
ケース 17~19



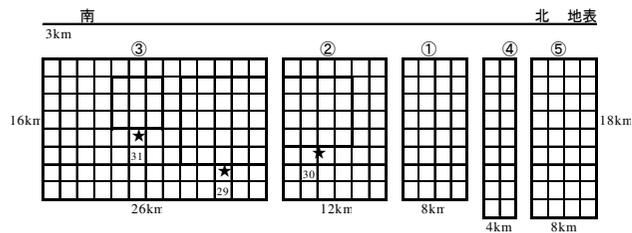
ケース 20~22



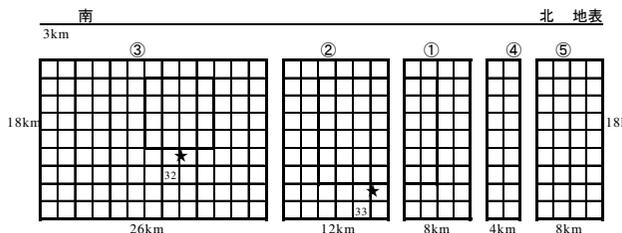
ケース 23~25



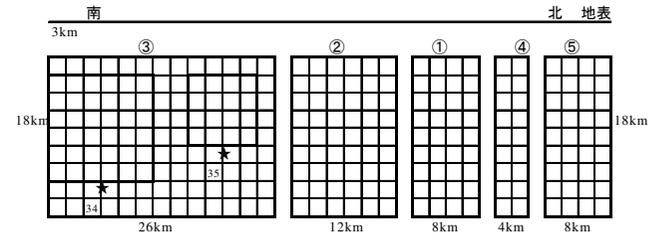
ケース 26~28



ケース 29~31



ケース 32~33



ケース 34~35

図 2-10(7) 上町断層帯の破壊シナリオ

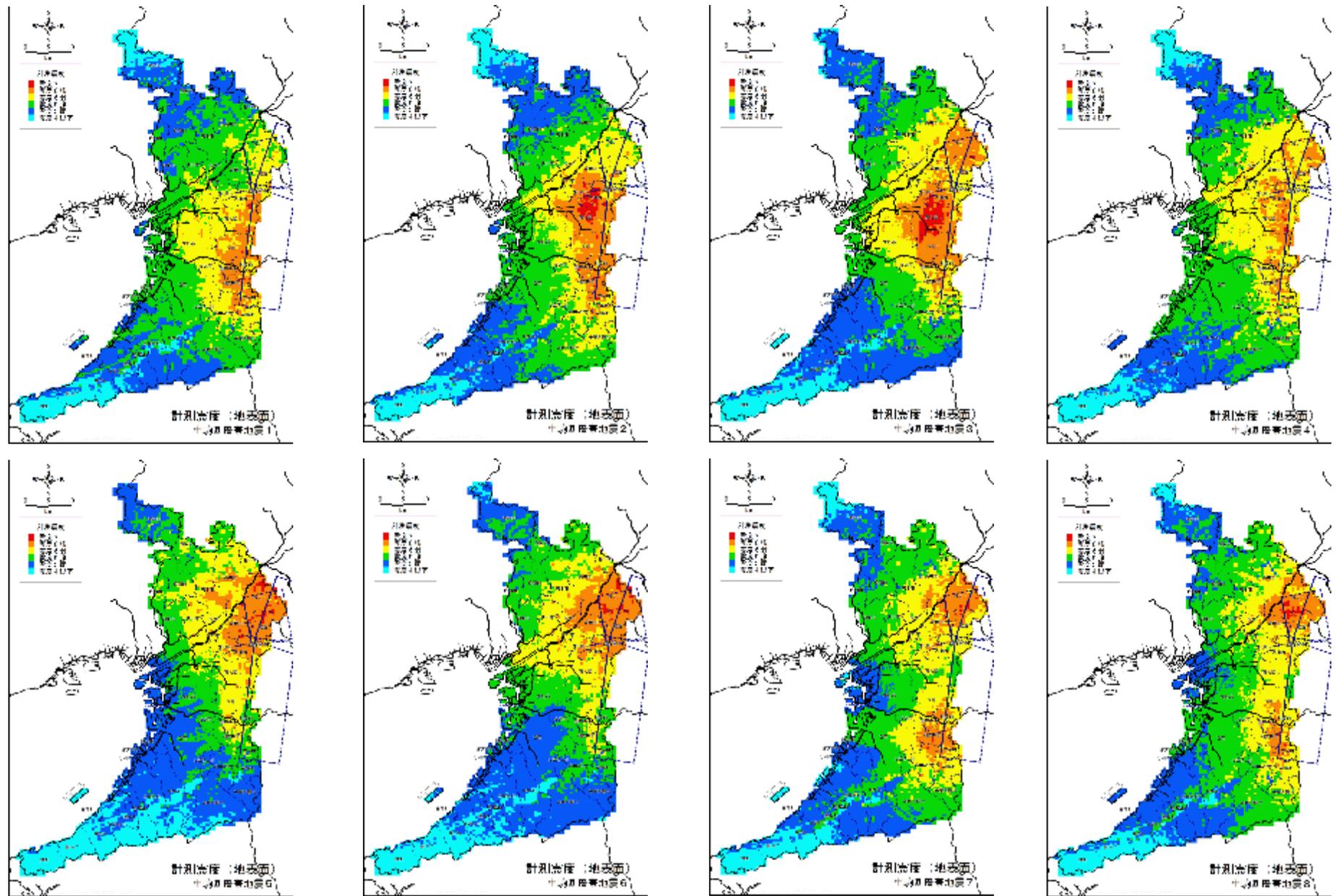


図 2-11(1) ステップ 2 による計測震度予測結果 (生駒断層帯地震ケース 1~8)

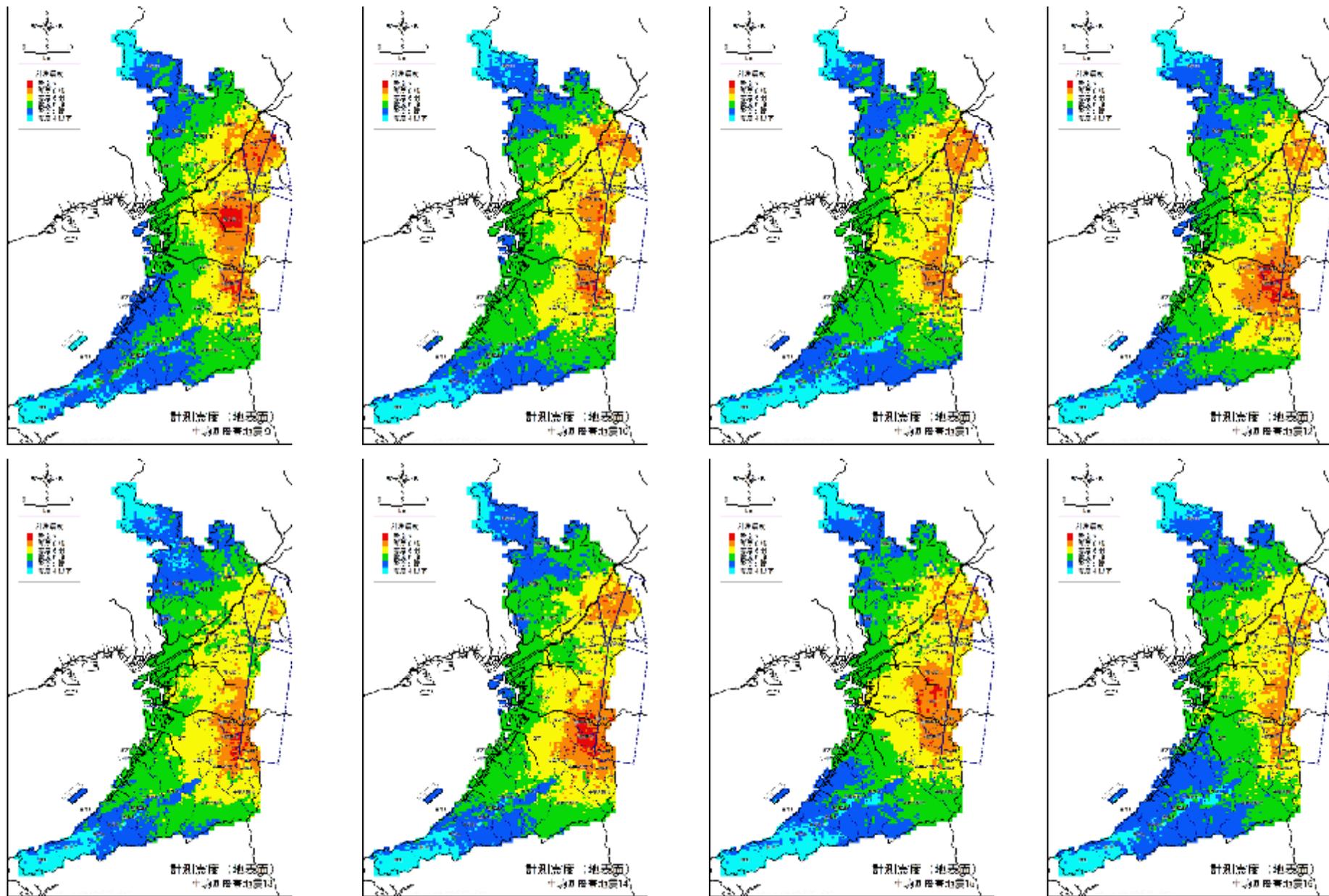
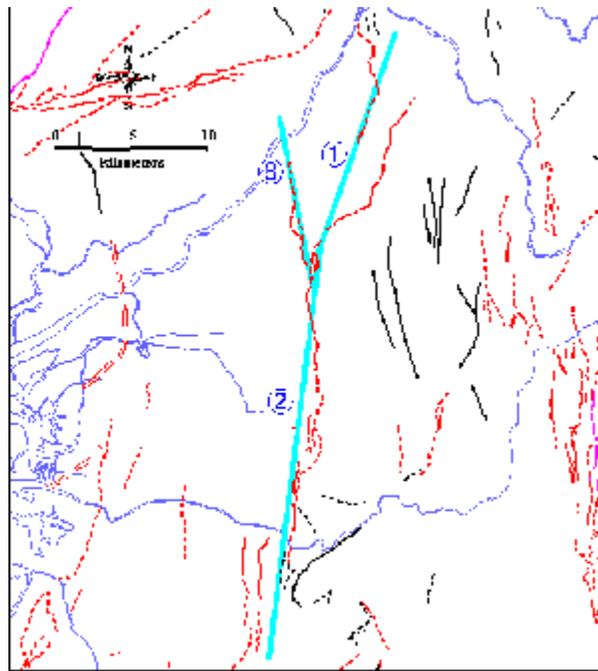


図 2-11(2) ステップ 2 による計測震度予測結果 (生駒断層帯地震ケース 9~16)



	対応断層	傾斜 (度)
①	田口断層・交野断層	60
②	生駒断層・菅田断層	
③	枚方断層	

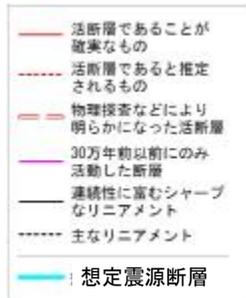


図 2-11(3) 生駒断層帯で想定した震源断層の位置

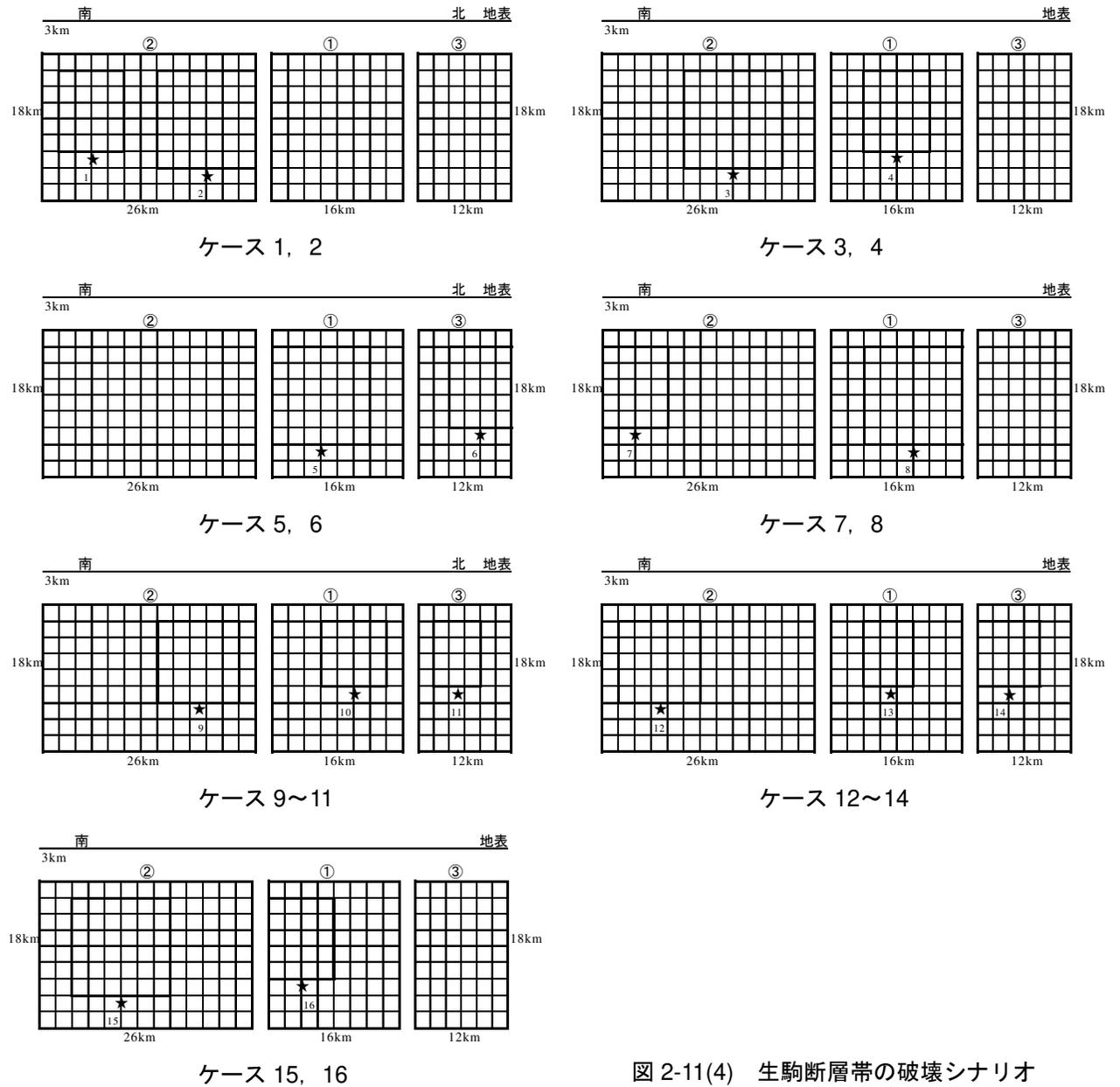


図 2-11(4) 生駒断層帯の破壊シナリオ

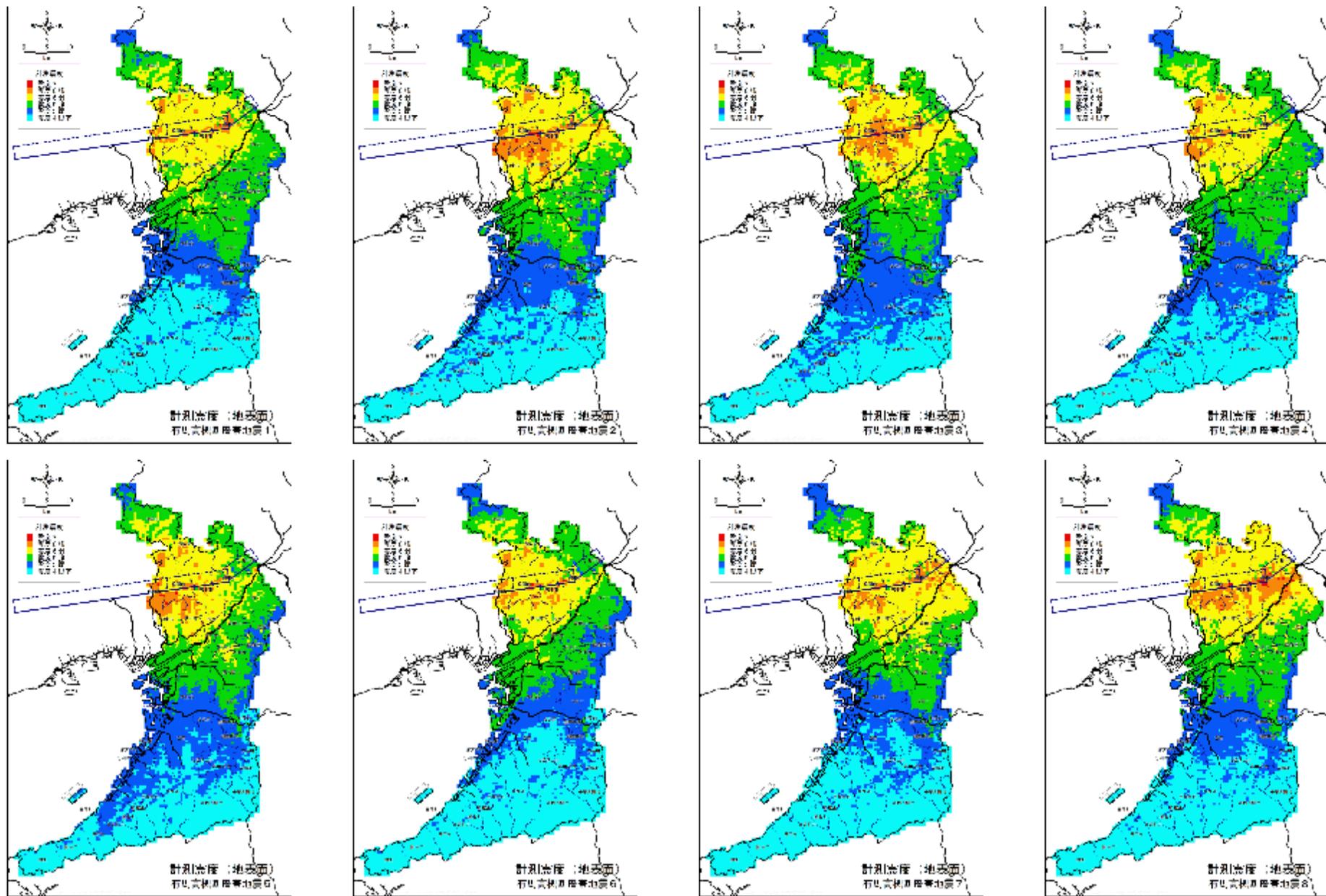


図 2-12(1) ステップ 2 による計測震度予測結果 (有馬高槻断層帯地震ケース 1~8)

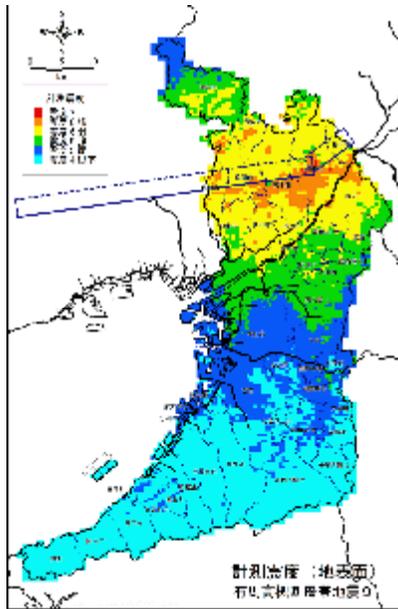


図 2-12(2) ステップ 2 による計測震度予測結果
(有馬高槻断層帯地震ケース 9)

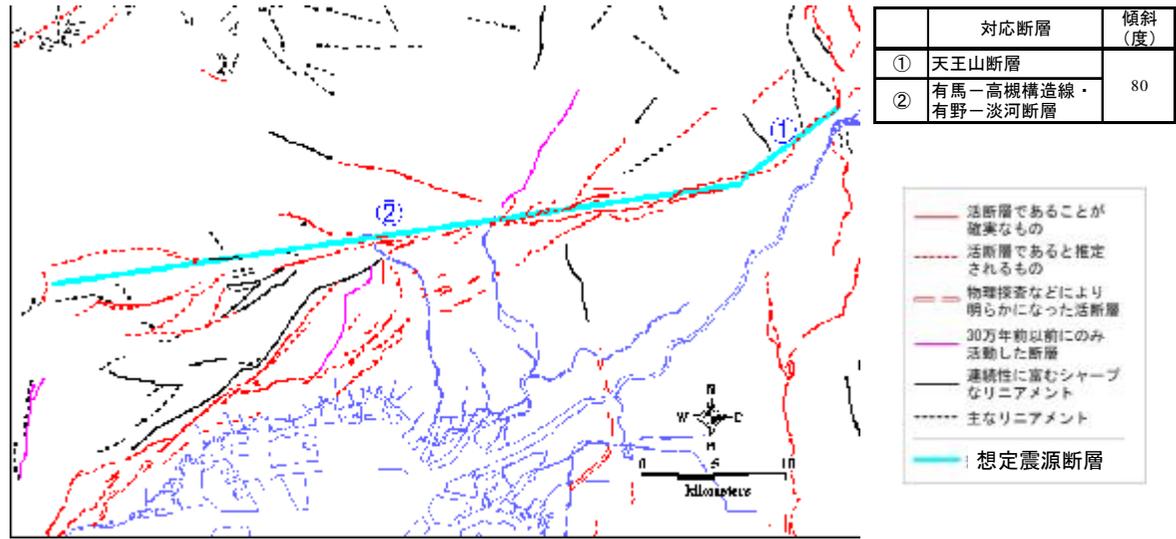


図 2-12(3) 有馬高槻断層帯で想定した震源断層の位置

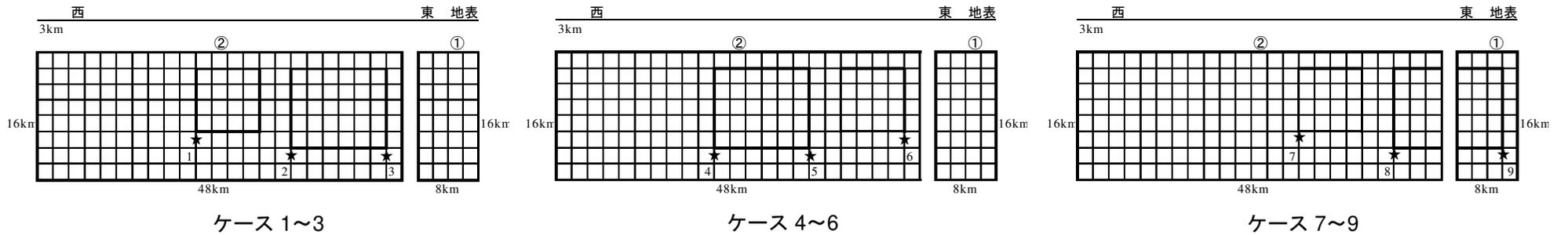


図 2-12(4) 有馬高槻断層帯の破壊シナリオ

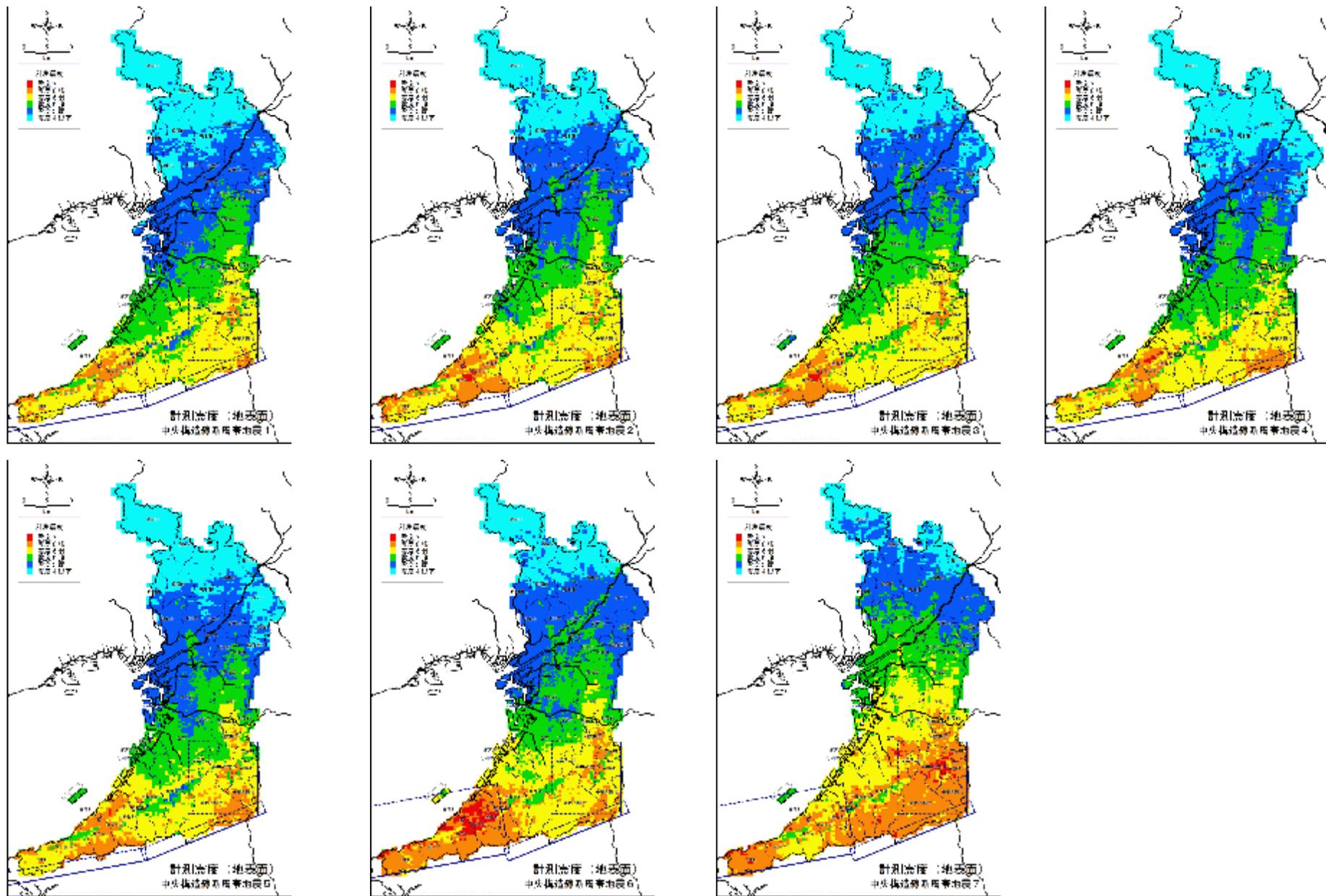
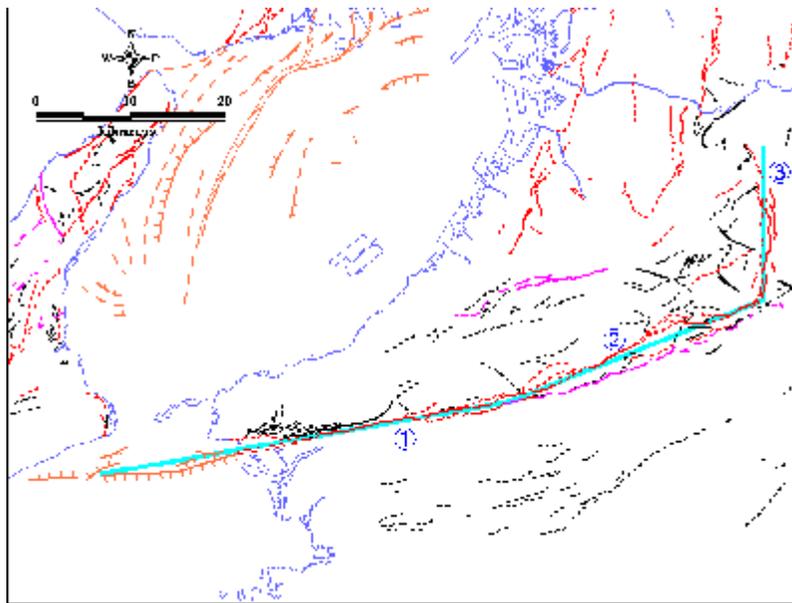


図 2-13(1) ステップ 2 による計測震度予測結果 (中央構造線断層帯地震ケース 1~7)



	対応断層	傾斜 (度)
①	友ヶ島水道断層～ 根来断層	80
②	五条谷断層	
③	金剛断層帯	45

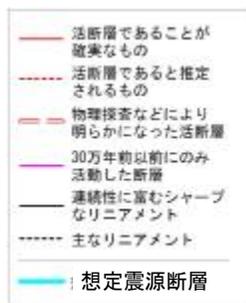
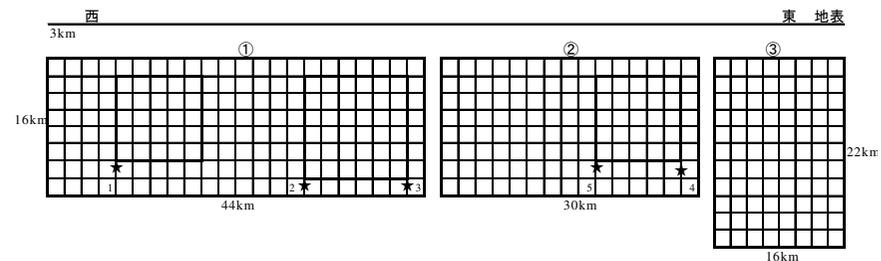
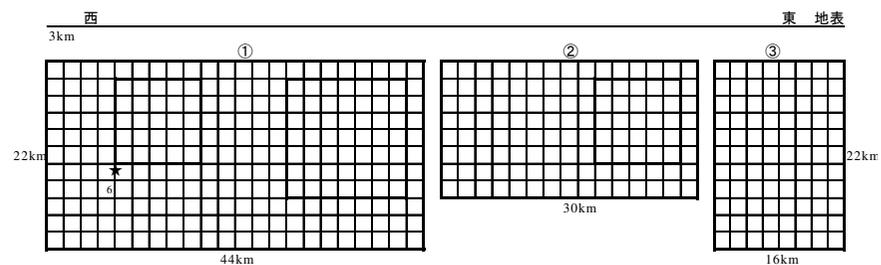


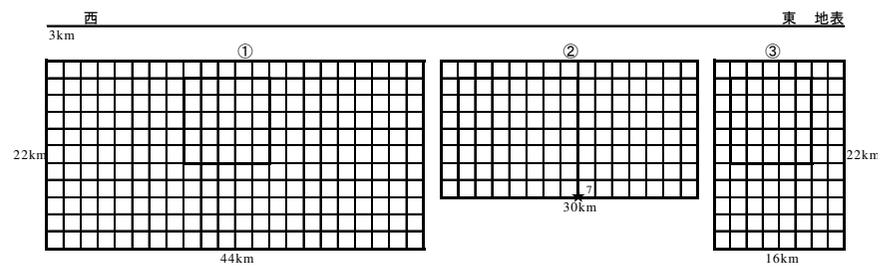
図 2-13(2) 中央構造線断層帯で想定した震源断層の位置



ケース 1～5



ケース 6 (①の傾斜 45 度)



ケース 7 (①の傾斜 45 度)

図 2-13(3) 中央構造線断層帯の破壊シナリオ

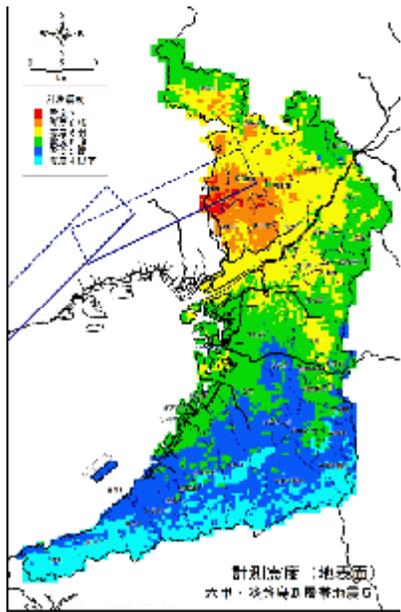
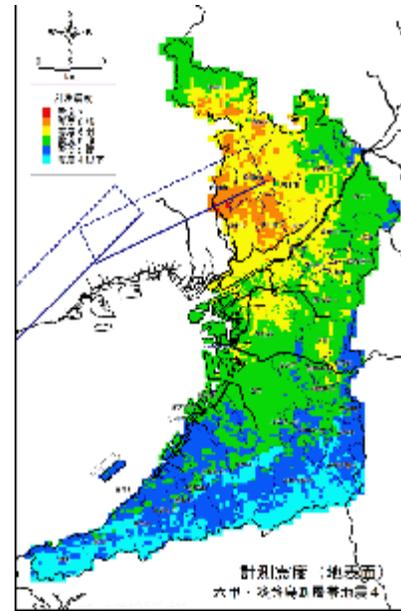
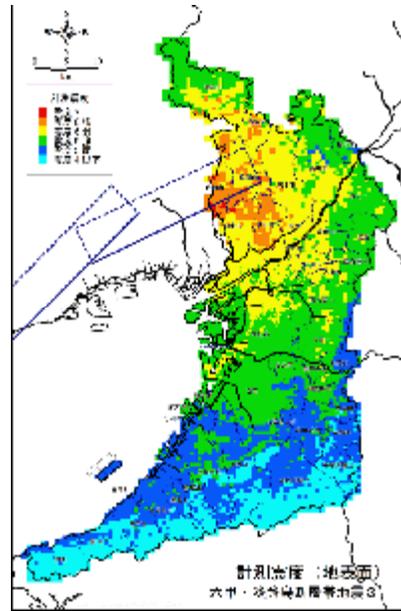
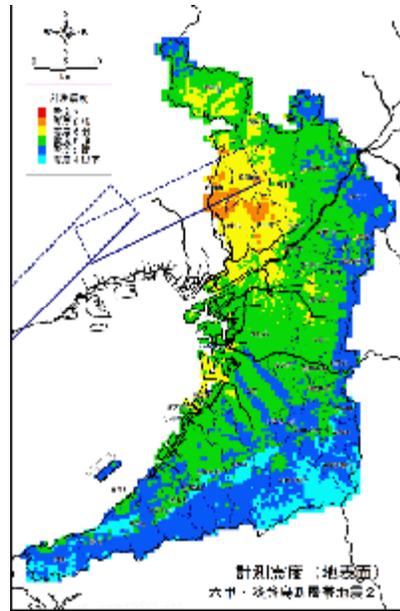
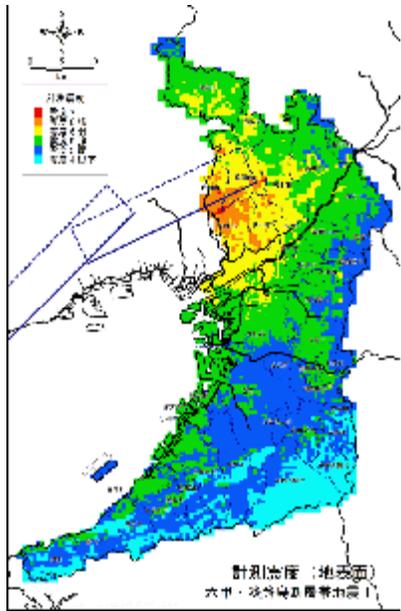


図 2-14(1) ステップ 2 による計測震度予測結果 (六甲・淡路島断層帯地震ケース 1~5)

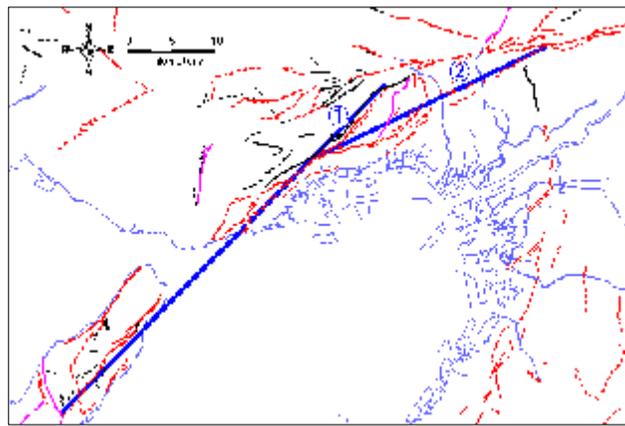


図 2-14(2) 六甲・淡路島断層帯で想定した震源断層の位置

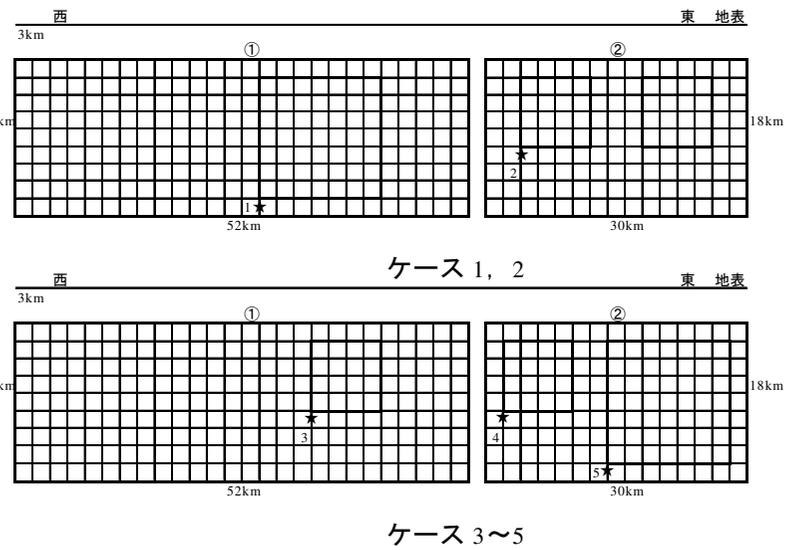
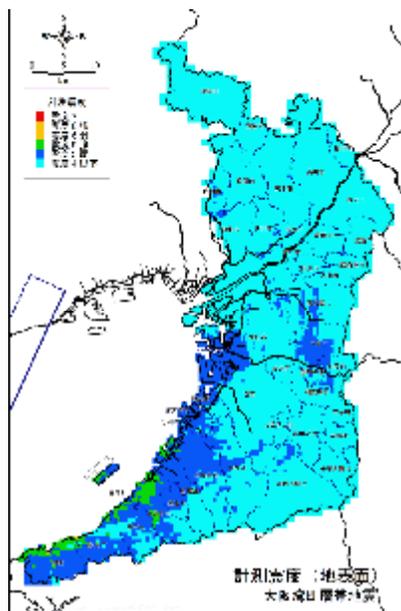


図 2-14(3) 六甲・淡路島断層帯の破壊シナリオ



-36- 図 2-15(1) ステップ 2 による計測震度予測結果
(大阪湾断層帯地震)

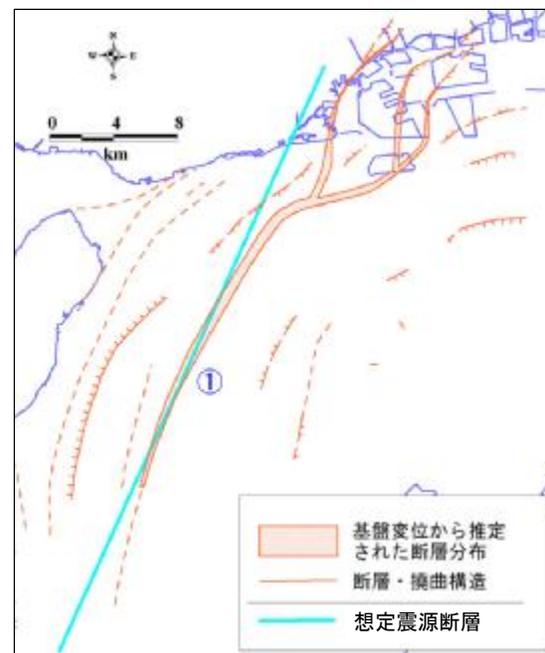


図 2-15(2) 大阪湾断層帯で想定した震源断層の位置 (傾斜角 60 度)

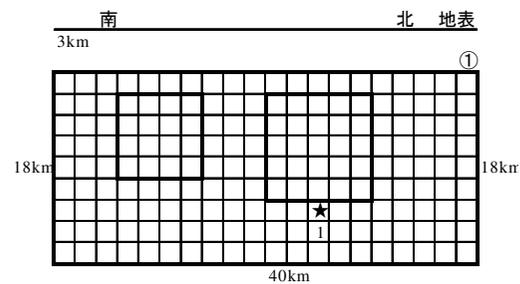


図 2-15(3) 大阪湾断層帯の破壊シナリオ